

〔四條流庖丁書〕一イト膾ト云ハ、鮒膾ノ事也。山吹膾ト云ハ、王餘魚ナマス也。マナガツホハ蓼スニテ可參ラス。總ジテ蓼出來ヌレバ、ナニ魚ニテモ蓼ズ良也。

〔延喜式典藥三十七〕諸國進年料雜藥

攝津國卅四種○中蓼子蜀椒各三升。

〔農業全書五山野菜〕蓼

豊州彦山の名物とするは、葉ふとく厚く少しほみて、莖葉青く、見かけ藍のごとし、和らかにして、甚辛からず、秋になり大きなる穂を一所より十ばかりも出し、見事なり。彦山の衆徒、大蓼と紫蘇をおほく取、醤桶の下にしきなれど、後他の器物にわけ、客をもてなし、或遠方にも送る甚味よし。

〔本草和名十九稟穀出崔禹〕和名曾波牟岐。

〔倭名類聚抄十七〕蕎麥 孟詵食經云、蕎麥蕎音喬、一音驕、和名曾波牟岐、一云久呂無木、性寒者也。

〔箋注倭名類聚抄九稟穀〕按廣韻蕎、蕎麥、音喬又云、蕎藥名、一名大戟、音驕、二音其義不同、此併引一音驕誤。下總本有和名二字、曾波牟岐依輔仁下總本曾波作曾末、按本草和名亦作波、且曾波有稜角之義、蓋蕎麥以其穀有稜角得是名、則作末恐非是。一云以下六字、舊及福井本下總本皆無、本草和名亦無此名、獨廣本有之、今附存。伊呂波字類抄有是訓、按久呂牟岐謂其實黑色。○中孟詵食療本草三卷、見新唐書所引食經蓋是、今無傳本、醫心方引孟詵云寒難消、與此少異、證類本草引嘉祐本草載蕎麥云、見陳藏器孟詵蕭炳陳士良日華子李時珍曰、蕎麥立秋前後下種、八九月收刈、性最畏霜、苗高一二尺、赤莖綠葉、如烏柏樹葉開小白花、繁密粲粲然結實、纍纍如羊蹄實、有三稜、老則烏黑色、性寒者也。四字舊及福井本下總本並無、獨廣本有之、今附存。

〔類聚名義抄八紳〕蕎麥下正、音喬、一音驕、ソハキ、一云、クロムキ、 蕎麥ソハムキ、

〔伊呂波字類抄所殖物附植物具〕蕎麥ソハムキ、 蕎麥ソハムキ、